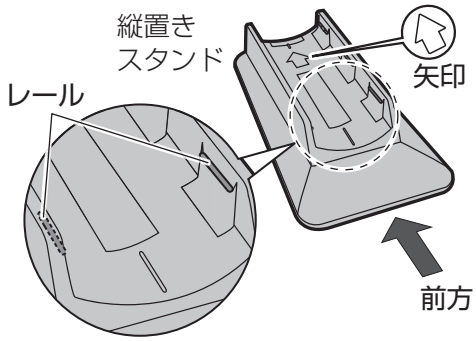
本機の設置方法

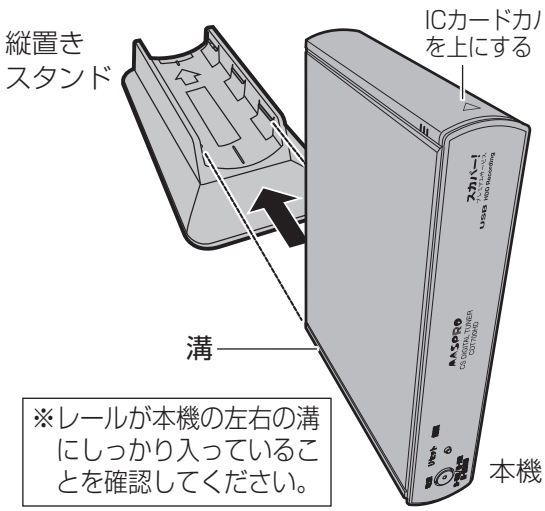
本機は、置きかた（縦置きまたは横置き）を選ぶことができます。

本機の設置方法

縦置き（縦置きスタンドの取り付け）

❶ 本機を縦置きスタンド（付属）の前方から、レールと本機の左右の溝を合わせ、矢印の方向へゆっくりとスライドさせて差し込む

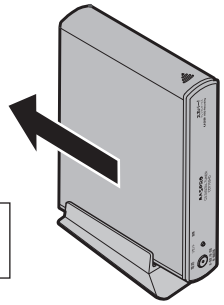




※レールが本機の左右の溝にしっかり入っていることを確認してください。

❷ ストッパーに突き当たるまで、ゆっくりスライドさせる

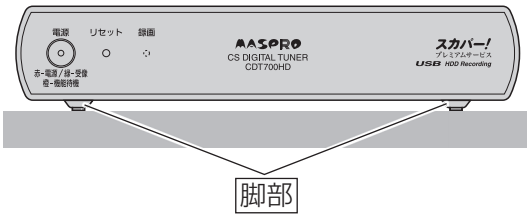
●固定されているのを確認してください。



※水平で安定した場所に設置してください。

横置き

脚部が下になるように置く



※水平で安定した場所に設置してください。

お知らせ

- 風通しのよい所に設置してください。
- 縦置きにするときは、必ず付属の縦置きスタンドを使用してください。
- 縦置きまたは横置き以外の置きかたはしないでください。

リモコンのテレビメーカー設定

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。
（電源の入切、チャンネル選局、入力切換、音量調整、消音）

■設定方法

テレビ
電源 を押したまま、

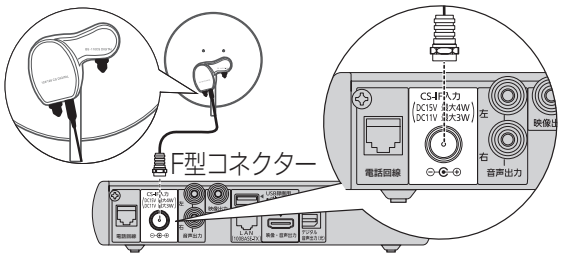
下表よりお手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを選び、順番に押す。
（工場出荷時はパナソニック（新1）に設定）

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック（新1）	1 あ と 1 あ	SONY（1）	3 さ と 5 な	富士通ゼネラル（2）	5 な と 6 は
パナソニック（新2）	1 あ と 2 か	SONY（2）	3 さ と 6 は	三洋（1）	6 は と 1 あ
パナソニック（旧）	1 あ と 3 さ	パイオニア	4 た と 1 あ	三洋（2）	6 は と 2 か
――		シャープ（1）	4 た と 5 な	三洋（3）	6 は と 3 さ
――		シャープ（2）	4 た と 6 は	三洋（4）	6 は と 4 た
ビクター	2 か と 1 あ	シャープ（3）	4 た と 7 ま	NEC（1）	6 は と 5 な
東芝	2 か と 5 な	三菱（1）	5 な と 1 あ	NEC（2）	6 は と 6 は
日立（1）	3 さ と 1 あ	三菱（2）	5 な と 2 か	AIWA	7 ま と 1 あ
日立（2）	3 さ と 2 か	三菱（3）	5 な と 3 さ	FUNAI	7 ま と 2 か
日立（3）	3 さ と 3 さ	三菱（4）	5 な と 4 た	――	
日立（4）	3 さ と 4 た	富士通ゼネラル（1）	5 な と 5 な	――	

お知らせ
- 同一メーカーで設定が2種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。
- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が「パナソニック（新1）」に戻った場合は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。

アンテナとの接続

アンテナとの接続



本機(背面)

お願い

- アンテナケーブルの接続は、必ず電源コードを抜いた状態で行ってください。
- CS-IF入力端子にF型コネクターを接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- **「アンテナとの接続に不具合があり、受信できません。」のメッセージが出たとき**
  コンバーター電源がショートしています。本機の電源コードを抜いた状態でアンテナケーブルの接続をご確認ください。

共聴方式でご利用の場合

アンテナやマンションなどの共聴方式は、建物の設備により異なります。受信可能な共聴方式のタイプを建物の管理者(管理会社、管理人または管理組合など)へお問合わせください。

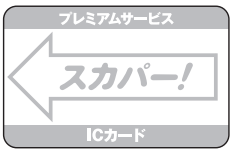
マンションなどにお住まいで共同受信設備をご利用の場合、一部のチャンネルをご視聴になれない場合があります。

なお、プレミアムサービスのハイビジョン放送につきましては、一部を除き共同受信設備ではほとんどご視聴になれません。

詳しくは共同受信設備用サイトをご覧ください。
http://www.skyperfectv.co.jp/premium/mansion/

スカパー!ICカード

スカパー!ICカードについて



- 付属のスカパー!ICカードを台紙から取り出します。スカパー!ICカードのパッケージを開封すると、パッケージに添付されている使用許諾契約約款に同意したものとみなされます。開封前に契約約款をお読みください。
- 本機と付属のスカパー!ICカードは対(ペアリング)になっており、本機以外のセットに使用することはできません。また、プレミアムサービス対応以外のスカパー!ICカードは本機には使用できません。
- スカパー!ICカードには、お客様のID番号や番組の契約・購入状況が記録されています。
- スカパー!ICカードを入れないと、スカパー!のチャンネルを正しく視聴できませんので、常に本機に挿入しておいてください。
- スカパー!ICカードの所有権はスカパーJSAT株式会社にあり、本機をご使用のお客様に貸与されたもので、無断で他人に譲渡することはできません。
- スカパー!ICカードの紛失・盗難・破損の場合、すぐにスカパー!カスタマーセンター(総合窓口)にお問合わせください。なお、お客様の過失により再発行が必要な場合は、再発行手数料がかかります。
- 使用できなくなったスカパー!ICカードは、スカパーJSAT株式会社にご返却ください。
- スカパー!ICカードに、記録された内容は定期的に本機からスカパー!へ電話回線もしくはインターネット接続回線を通じて自動転送されます。(電話料金は無料)

スカパー!ICカード取り扱い上の留意点

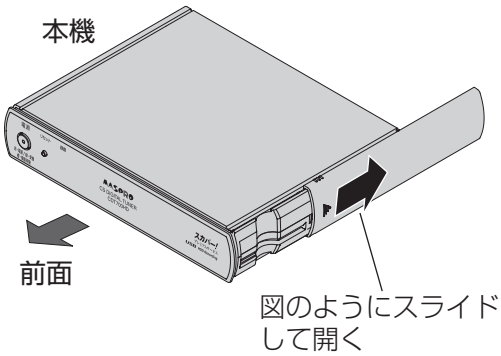
- 折り曲げたり、変形させない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- 分解加工は行わない。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 電子レンジなどへは入れないでください。

カードの挿入

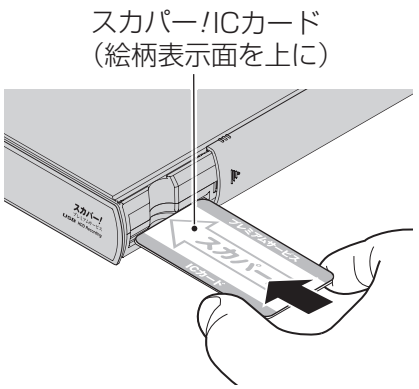
スカパー!ICカードを挿入する

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する
（電源プラグを抜いた状態）

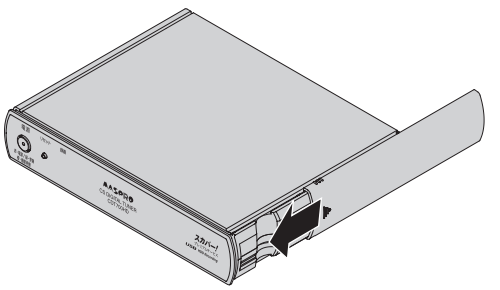
2 側面のICカードカバーを開ける



3 スカパー!ICカードを奥に突き当るまでしっかりと差し込む



4 ICカードカバーを閉める



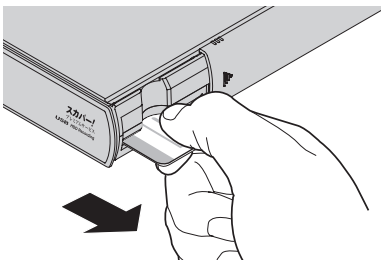
スカパー!ICカードを抜くとき

スカパー!ICカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
（☞ 176～183ページ）

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する
（電源プラグを抜いた状態）

2 側面のICカードカバーを開ける

3 スカパー!ICカードを持って、ゆっくりと引き出す



スカパー!ICカードのテストをするとき

スカパー!ICカードを抜き差したときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。
（☞ 35、154ページ）

お願い

- ICカードカバーを必ず閉めてください。ICカードカバーが開いていると、リモコン操作ができません。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- 本機専用のスカパー!ICカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとスカパー!ICカードは機能しません。

テレビとの接続

お願い

●本機の電源プラグは、すべての接続が終わってからコンセントに接続してください。

用意するもの

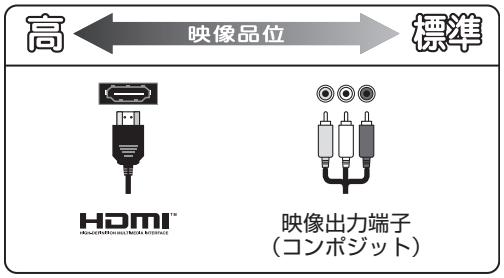
HDMI ケーブル
<付属品>

映像・音声コード
<市販品>

映像出力端子の映像クオリティについて

下図および以下を参考にお使いのテレビに最適な映像端子をお選びください。

※ できるだけHDMI端子につないでください。
より高品位な映像をお楽しみいただけます。

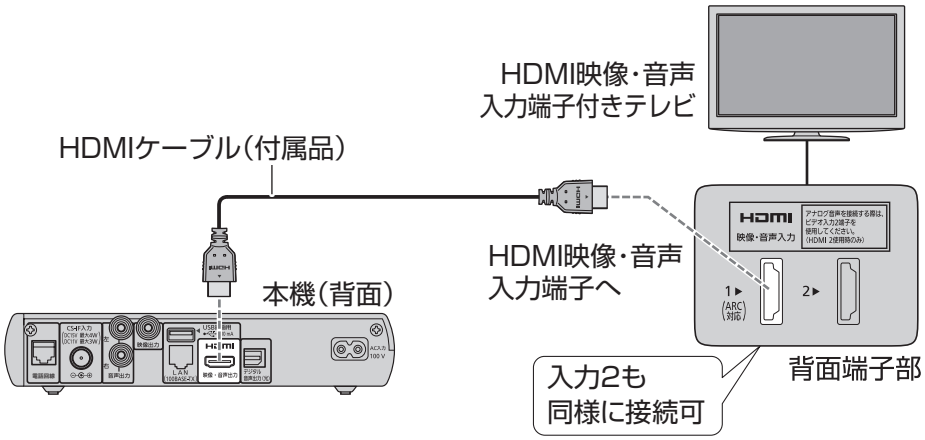


・HDMI出力端子
本機からの出力(映像・音声・制御信号)をHDMI入力端子付のテレビにデジタル信号で伝送します。最も劣化の少ない映像・音声品位となります。

・映像出力端子(コンポジット)
標準画質の出力端子です。ハイビジョン放送は標準画質に変換されて表示されます。

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。
接続後、テレビに合わせて「接続テレビ設定」(☞ 35、158ページ)を行ってください。
テレビ以外のモニターなどには接続しないでください。

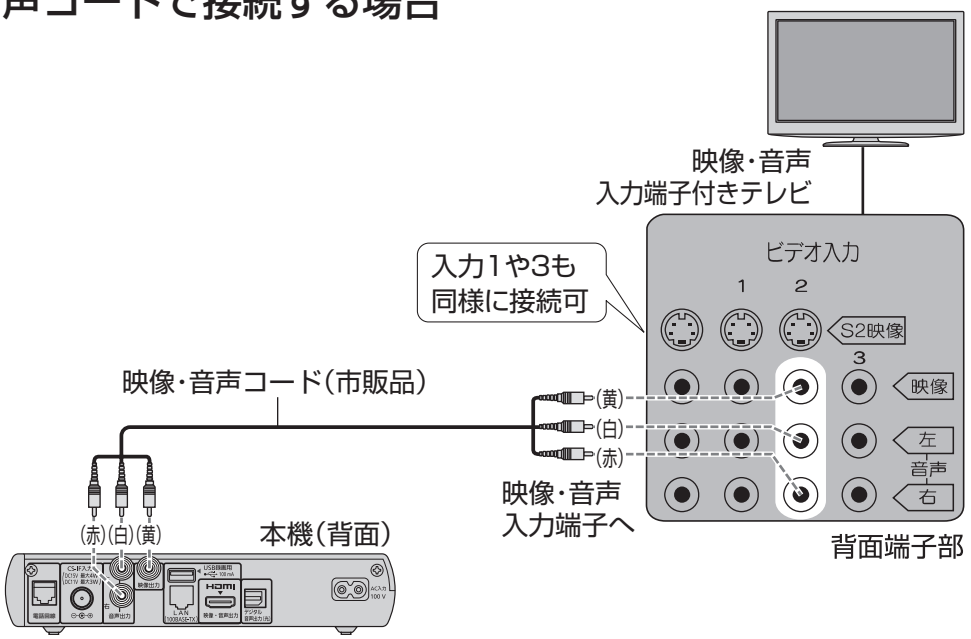
HDMIケーブルで接続する場合



お願い

- HDMI規格に準拠したHDMIロゴのついたケーブルをご使用ください。
- 3D映像番組をご覧いただくためには、本機と3D対応テレビはHDMIケーブルでの接続が必要です。
- HDMI連携機能については(☞ 164ページ)

映像・音声コードで接続する場合



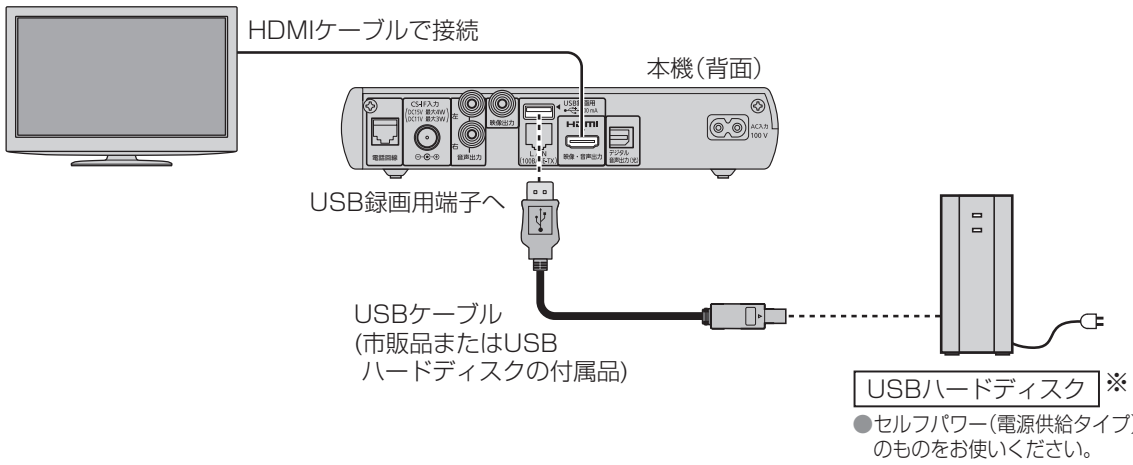
コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

USBハードディスクの接続

●本機で動作確認済のUSB機器(推奨品)については、170ページの「USBハードディスク動作確認一覧　(推奨品)」を参照してください。

本機とUSBハードディスクを直接接続する

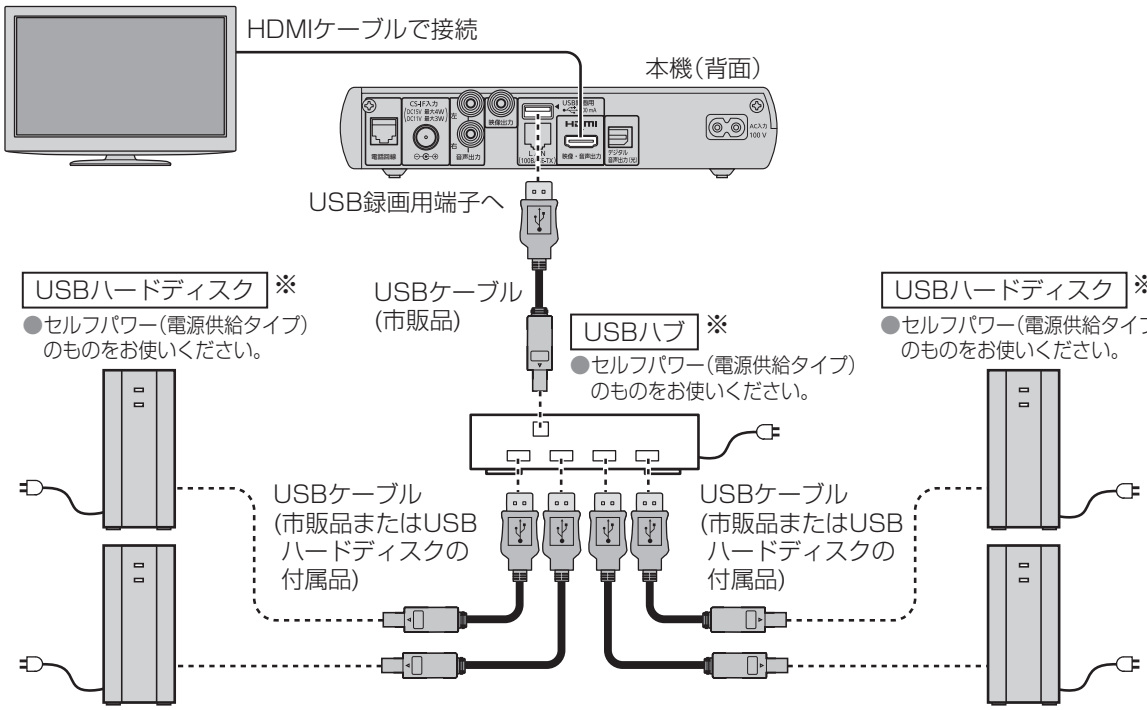
本機とUSBハードディスクをUSBケーブル１本で直接接続して録画・再生する場合の接続方法です。



※推奨品の機器をお使いください。

本機とUSBハードディスクをUSBハブ経由で接続する

本機とUSBハードディスクをUSBケーブルでUSBハブに接続し、録画・再生する場合の接続方法です。
最大4台までのUSBハードディスクを接続できます。



※推奨品の機器をお使いください。

録画内容の補償に関する免責事項について

本機の故障、誤動作、接続機器の不具合あるいは受信障害や停電などの原因により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を交換した場合等においても同様です。あらかじめご了承ください。

お知らせ

＜USBハードディスクの動作について＞

- 録画用として使用できるのは容量が500 GBから2.0 TBまでのセルフパワー(電源供給タイプ)のUSBハードディスクです。
- 本機に初めて接続するUSBハードディスクは、機器登録が必要です。(☞ 67ページ)
  最大8台まで登録できます。
- USBハブを使って最大4台のUSBハードディスクを同時に接続することができますが、一度に操作できるUSBハードディスクは1台です。再生・録画するUSBハードディスクを切り換えてご使用ください。(☞ 67、84ページ)
- USBハブを複数台経由して接続しているときなどは、USBハードディスクを認識しない場合があります。USBハブは1台のみご使用ください。(☞ 26ページ)
- 本機はUSB3.0には対応していません。
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。他のプレミアムサービスチューナー(同じ品番のプレミアムサービスチューナーを含む)やテレビ、パソコンなどに接続して再生することはできません。
- 録画モード(DR)は変更できません。デジタル放送のデジタル信号をそのまま録画します。
- USBハードディスクではデジタルラジオ放送を録音できません。

＜USBハードディスクのご注意＞

- USB録画用端子には、本機に対応していない機器を接続しないでください。
- USBハードディスクは、USBケーブルが届く範囲で、安定した水平な場所に設置してください。
- USB録画用端子からUSBハードディスクを外すときは、必ずメニュー操作で取り外せる状態にしてから行ってください。(☞ 67ページ)
- USBハードディスクの動作中は、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。録画できない、録画した内容が消える、USBハードディスクの不具合などが発生します。USBハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 接続した機器の組み合わせまたは、機器の操作や性能などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- **初回起動時に、USBハードディスクを接続している場合は、かんたん設置設定(☞ 32ページ)を終了後、USBハードディスクの機器登録(☞ 67ページ)を行います。**
- **USBハードディスクを本機に接続して録画・再生用として登録すると、本機専用のハードディスクとしてフォーマット(初期化)します。それまでUSBハードディスク内に録画していたデータはすべて消去されます。(☞ 67ページ)**
- **本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。本機専用で使用中のUSBハードディスクを、他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存していたデータがすべて削除されます。(☞ 67ページ)**
- **登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。(☞ 67、68ページ)**

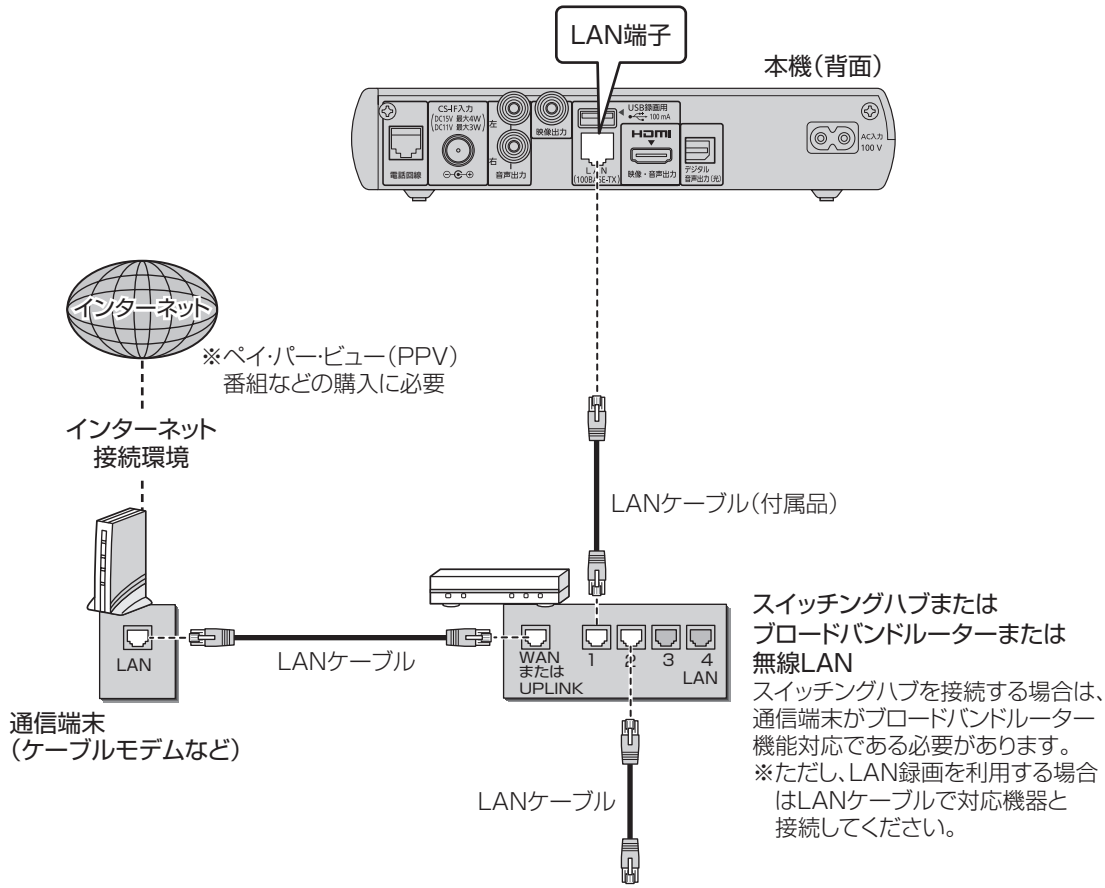
ネットワーク回線の接続

ペイ・パー・ビュー(PPV)やペイ・パー・デイ(PPD)などの有料番組を視聴したり、センターアクセス(投票やショッピングなど視聴者参加番組)に参加するときは、本機とインターネット回線または電話回線(☞ 30ページ)いずれかの接続および設定が必要です。
「スカパー!オンデマンド」をご利用の場合は、安定してご視聴いただくために実効速度12 Mbps以上の回線速度があるインターネット接続環境をご用意ください。
回線が接続されないと、これらの番組の購入やサービスが利用できなくなります。

「スカパー!プレミアムサービスLink」対応機器へのLAN録画・LANダビングやDLNA接続機能をご利用いただくためにホームネットワーク接続が必要です。

■インターネット接続環境により必要な機器と接続方法が異なります。

※詳しくはご契約の回線の利用規約などに従い接続・設定してください。



※接続·設定に関して詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

お願い

- ●ブロードバンドルーターやケーブルモデム、スイッチングハブはLAN端子が100BASE-T以上のものをご使用ください。
- ●100BASE-T用の機器を接続するには「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
- ●「スカパー!オンデマンド」をご利用の場合は、安定してご視聴いただくために実効速度12 Mbps以上の回線速度があるインターネット接続環境をご用意ください。
- ●無線LANまたはPLC(高速電力線通信)※1を使った場合は、番組の録画・再生・視聴が正常に行なえない場合があります。特に「スカパー!オンデマンド」ではより安定した状態で視聴するために、有線LANでの接続をおすすめします。

お知らせ

- ●インターネット接続環境を利用する場合は、プロバイダーや回線業者と別途ご契約(有料)していただく必要があります。
- ●本機のLAN端子にLANケーブル以外のもの(電話用のテレホンコードなど)を挿入しないでください。故障の原因になります。
- ●LANケーブルを電話回線接続端子に無理に挿入しないでください。故障の原因になります。
- ●本機ではネットワーク(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ●本機に接続したDHCP※2でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、スイッチングハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- ●本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないスイッチングハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間(約3分間)をおいて再度試してください。
- ●ご利用環境、通信環境、接続回線の混雑状況により、「スカパー!オンデマンド」の映像の乱れ、途切れ、見えなくなるなどの障害が発生する場合があります。

※1 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。

※2 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。

電話回線の接続

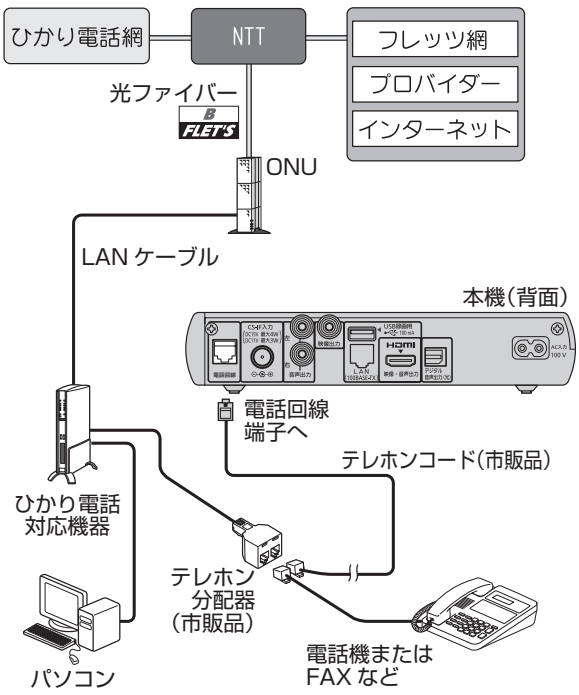
お知らせ

●次の電話回線には接続できません。
・公衆電話や共同電話、地域集団電話
・携帯電話やPHS、自動車電話
・船舶電話
IP電話「050」はかからない場合があります。

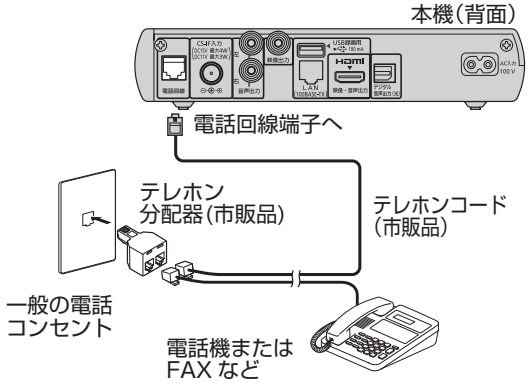
電話回線の接続方法

電話回線の種類や使用状況によって接続方法が異なります。ご利用の電話回線に合わせて接続してください。

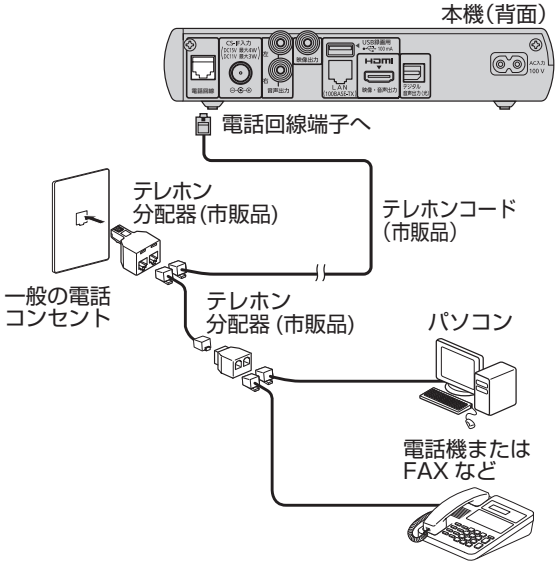
NTTの「ひかり電話」をご利用の場合



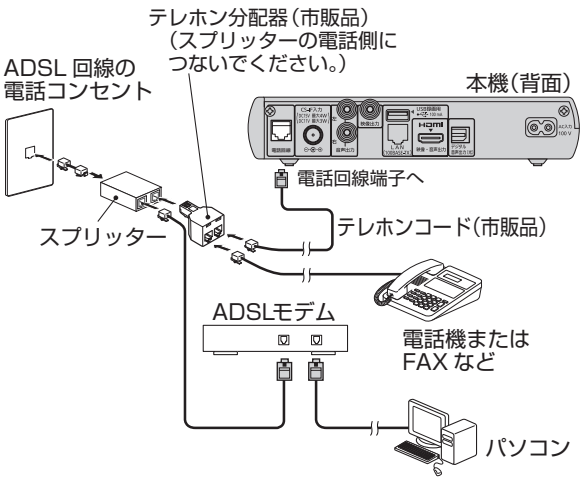
電話コンセントに電話を直接接続している場合



電話機やFAXとコンピューターを接続している場合



ADSL回線をご利用の場合

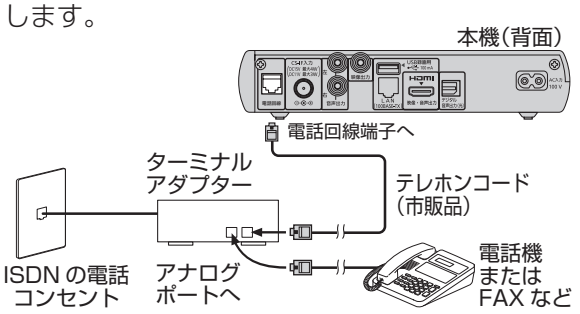


お知らせ

- 本機をADSLモデムに直接接続しないでください。
- スプリッター内蔵タイプのモデムをご利用の場合、別途機材（セパレーター）が必要になる場合がありますので、ご契約のADSL業者にお問合わせください。

ISDN回線をご利用の場合

ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。

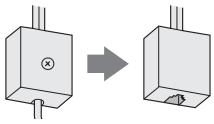


お知らせ

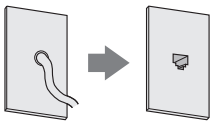
- 本機をISDN回線に直接接続しないでください。
- アナログポートに接続している場合は、「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。（☞ 38、156ページ）
- ターミナルアダプターによっては通信できないものがあります。詳しくはご使用機器のメーカーにお問合わせください。

その他の電話コンセントについて

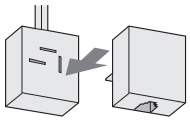
●直付型ローゼット
電話コンセントへの
工事が必要です。



●埋め込み型プレート
電話コンセントへの
工事が必要です。



●3ピンジャックコンセント
3ピン変換アダプター
（市販品）が必要です。



●ホームテレホンの場合
ホームテレホンのテレホンプラグを本機に接続できません。電話回線を直接接続する工事が必要です。

■工事をされる場合は

電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。
NTT営業所または専門の業者へご相談ください。

お願い

●テレホンコードについて
- 電話コンセントから本機までの長さに合わせて、市販のテレホンコードをお買い求めください。
- 設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。

- FAXと電話を並列接続した場合、本機からの信号でFAXや電話が誤動作することがあります。
- テレホン分配器を本機の電話回線端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。

かんたん設置設定

本機にテレビやアンテナ、外部機器を接続後、プレミアムサービスの視聴や録画ができるように、メニューにしたがって設置設定を行います。

はじめにご確認ください。

- 本機とテレビ、アンテナ、外部機器の接続はお済みですか？（☞ 22～27ページ）
- スカパー!ICカードを正しく挿入していますか？（☞ 23ページ）
- ネットワーク回線、電話回線への接続はお済みですか？（☞ 28～31ページ）
- リモコンの乾電池は入っていますか？（☞ 19ページ）
- 各機器の電源プラグをコンセントにつなぎ、電源を「入」にします。

かんたん設置設定の内容

スタート

準 備

1 受信設定

2 ICカードテスト

3 接続テレビ設定

4 暗証番号入力

5 制限項目設定

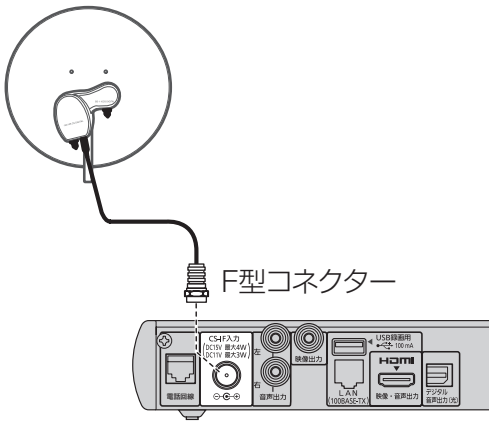
6 センター接続方法選択

7 IPアドレス/DNS設定

8 電話設定

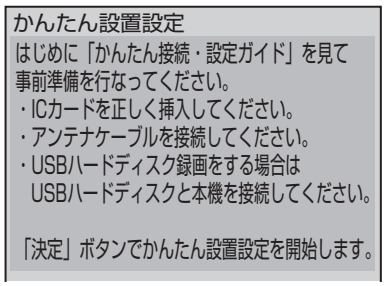
終 了

準備(アンテナ接続の確認)



本機（背面）

準備(かんたん設置設定開始の確認)



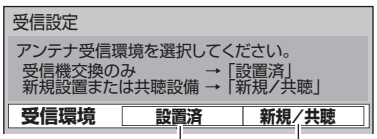
- 「アンテナとの接続に不具合があり、受信できません。」のメッセージが表示された場合は、コンバーター電源がショートしています。本機の電源コードを抜いた状態でアンテナケーブルの接続をご確認ください。

決定 を押し、次に進む(次ページ)

1 受信設定

設置されているアンテナに合わせて、プレミアムサービスが受信できるように設定します。

a 設置設定を行う環境に合わせて◀▶で選び、赤 を押す



受信機のみを交換する場合

初めて設置設定をする場合または、共聴アンテナをご使用の場合

「アンテナを個別に設置しているとき」と「共聴アンテナのとき」で設定手順が変わります。

アンテナを個別に設置しているとき

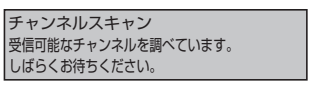
（☞ 右記 b）

共聴アンテナのとき

（☞ 34ページ b）

「設置済」を選択したとき

チャンネルスキャン画面が表示されます

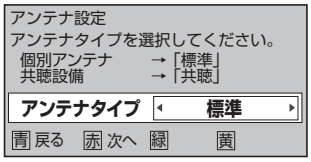


2 ICカードテスト に進む

（☞ 35ページ）

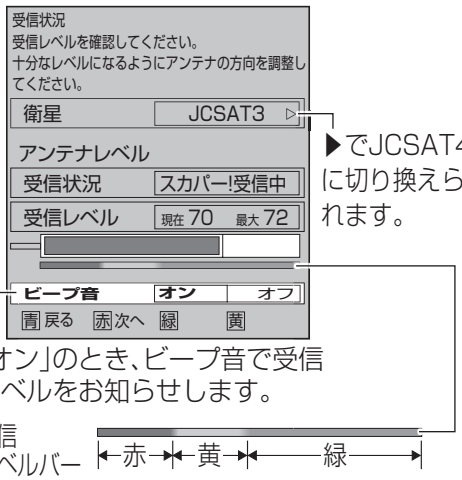
アンテナを個別に設置しているとき

b ◀▶で「標準」を選び、赤 を押す



c 受信状況を確認しながら、アンテナの方向を調整する

●緑色の範囲になるように調整してください。
調整のしかたは、ご使用のアンテナの取扱説明書をご覧ください。

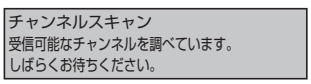


アンテナ調整が完了したら、JCSAT3、JCSAT4の各々の受信レベルを確認してください。

d アンテナ調整が完了したら 赤 を押す

●プレミアムサービスが受信できないとき
受信レベルが十分得られない場合（受信レベルが赤の場合）は、アンテナの方向、接続をご確認ください。
確認のしかたは、ご使用のアンテナの取扱説明書をご覧ください。

チャンネルスキャン画面が表示されます



2 ICカードテスト に進む

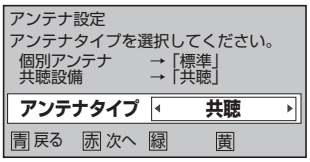
（☞ 35ページ）

かんたん設置設定

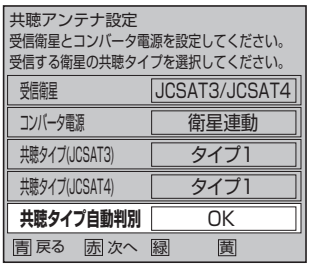
共聴アンテナのとき

共聴アンテナの「共聴タイプ」をご確認いただくことをおすすめします。

b ◀▶で「共聴」を選び、赤 を押す

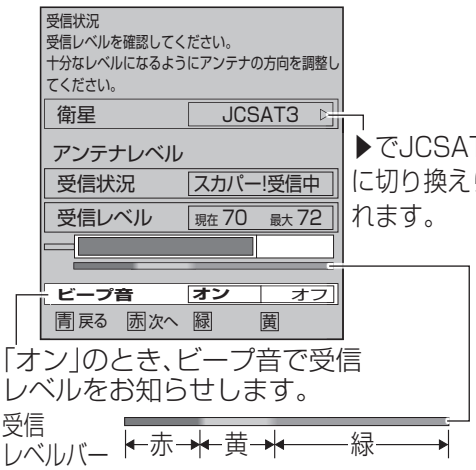


c ▼▲で「共聴タイプ自動判別」を選び、決定 を押す



●「NG」と表示されたとき
建物の管理会社などで、受信衛星および共聴アンテナの「共聴タイプ」をご確認いただき「受信衛星」および「共聴タイプ」を設定してください。
※結果がでるまで時間がかかる場合があります。

d 赤 を押して、受信レベルを確認する



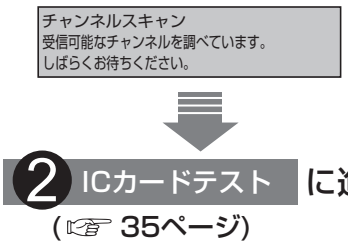
JCSAT3、JCSAT4の各々の受信レベルを確認してください。

●プレミアムサービスが受信できないとき
c 項に戻って、「共聴タイプ」を共聴アンテナの共聴タイプに合わせて設定してください。共聴については、22ページをご確認ください。受信レベルが十分得られない場合（受信レベルバーが赤の場合）は、本機への接続をご確認ください。それでも状況が変わらない場合は、建物の管理会社にお問合わせください。

e 受信レベルが確認できたら 赤 を押す

チャンネルスキャン画面が表示されます

●共聴タイプ自動判別を行ったとき、チャンネルスキャン画面が表示されない場合があります。



（☞ 35ページ）

詳細な設定が必要なとき

アンテナの詳細な設定が必要なときは、かんたん設置設定終了後に「受信設定」の「詳細な設定が必要なとき」の設定を行ってください。
（☞ 152ページ）

※チャンネルスキャンを3回くりかえすと「ICカードテスト」に進みます。

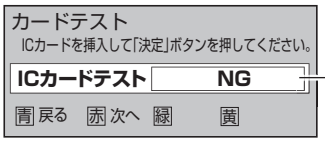
2 ICカードテスト

自動的にICカードテストは行われます。「OK」の場合は❸へ進みます。(「ICカードテスト」画面は表示されません。)

●「NG」と表示されたときは、スカパー!ICカードの挿入を確認してください。(☞ 22、23ページ)

「NG」の場合は以下の画面が表示されます。
ICカードテストを行ってください。

決定 を押し「ICカードテスト」を行う



結果

●スカパー!ICカードと通信ができたときは「OK」と表示します。

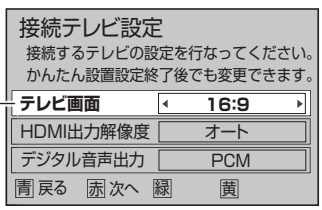
赤 を押して、次に進む

3 接続テレビ設定

接続するテレビに合わせて映像信号の出力形式を切り換えます。

a テレビ画面(アスペクト設定)

▼で「テレビ画面」を選び、◀▶で設定する



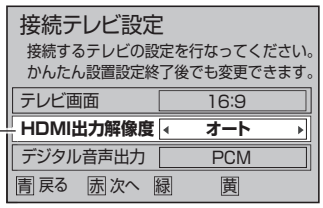
16:9	ワイドテレビのとき(工場出荷時)
16:9フル	4:3設定された番組をワイドテレビで左右の黒帯を無くして表示させるとき
4:3	画面が4:3のテレビのとき

次に進む

b HDMI端子に接続したとき

HDMI端子で接続したときのみ設定を行ってください。

▼で「HDMI出力解像度」を選び、◀▶で設定する



HDMI出力解像度
「オート」(工場出荷時)「480p」「1080i」「720p」から選ぶ

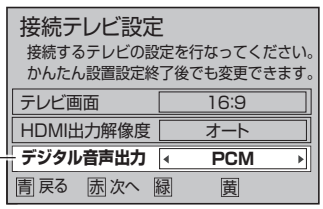
●「オート」は、720p、1080i、480pの順で接続機器に適した解像度を自動で選択します。

次に進む

c デジタル音声出力

デジタル音声出力端子(光)に接続するオーディオ機器に合わせて、デジタル音声方式を設定します。

▼で「デジタル音声出力」を選び、◀▶で設定する



PCM	オーディオ機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」に対応していないとき(工場出荷時)
Bitstream	AACのときは「AAC」出力、ドルビーデジタルのときは「ドルビーデジタル出力」、それ以外は、「PCM」出力
自動	サラウンド・ステレオ(5.1ch)のときのみ自動的に「AAC」や「ドルビーデジタル」出力に切り換える

●オーディオ機器の接続と設定について(☞ 162ページ)

赤 を押して、次に進む

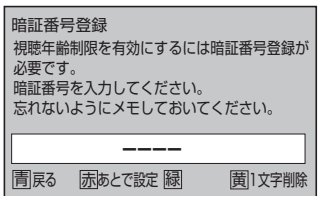
かんたん設置設定

4 暗証番号入力

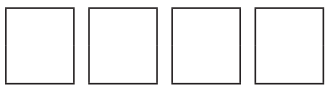
視聴年齢制限などの制限項目を設定するために暗証番号を入力します。

画面の指示に従って、暗証番号を2回入力する

●すでに暗証番号を登録している場合は、1回の入力になります。



●暗証番号は必ず下欄にメモしておいてください。忘れたときはスカパー!カスタマーセンター(総合窓口)に暗証番号の解除をご依頼ください。(別途手数料が必要です。)



●入力がないと約60秒後「接続テレビ設定」の画面に戻ります。

●暗証番号の変更(☞ 149ページ)

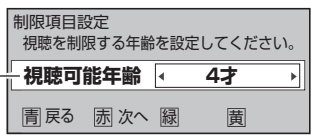
正常入力後、次に進む

●暗証番号を入力しないで 赤 を押した場合は、暗証番号なしで❻へ進みます。

5 制限項目設定

視聴年齢制限のある番組が視聴できる年齢の下限を設定します。

◀▶で視聴可能年齢を設定する



「4才」(工場出荷時)～「19才」(1才単位)、「無制限」を設定します。

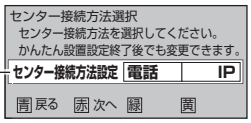
赤 を押して、次に進む

●青 を押すと❸の画面に戻ります。

6 センター接続方法選択

センターへの接続方法を設定します。

◀▶で「IP」「電話」を選択する



IP インターネット回線で接続する

(工場出荷時)

赤 を押して、❼ IPアドレス/DNS設定 に進む

電話 電話回線で接続する

赤 を押して、❽ 電話設定 に進む

(☞ 38ページ)

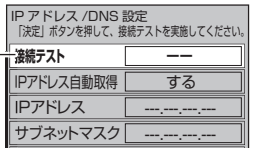
7 IPアドレス/DNS設定

本機からネットワークへ接続するための設定です。

■自動取得の場合

IPアドレスを自動取得します。

▼で「接続テスト」を選び、決定 を押す



OK インターネットへの接続が完了

宅内機器使用可 本機とホームネットワーク回線の接続が完了(インターネットとは接続されていません。)

NG インターネットへの接続やネットワーク機器をご確認ください。また、IPアドレスが自動取得できていない場合があります。IPアドレス/DNS設定を手動で入力してください。(☞ 37ページ)

※結果が出るまで時間がかかる場合があります。

お知らせ

●IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスについては、ご加入のプロバイダーにご確認ください。

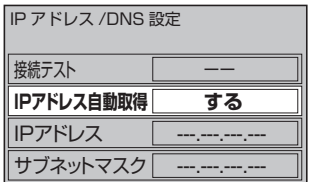
赤 を押して、かんたん設置設定の確認 に進む

(☞ 39ページ)

a IPアドレスを手動で入力する

■手動設定の場合

① ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、決定 を押す

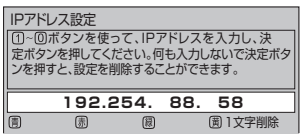


② 確認画画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、決定 を押す

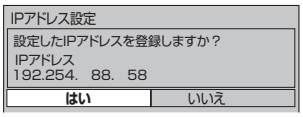
③ ▼で「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、決定 を押す

④ ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

＜入力画面例（IPアドレス）＞



IPアドレスを修正するときは 黄（1文字削除）で消去後に入力してください。



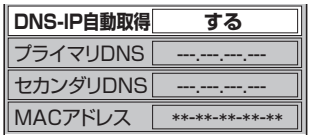
IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

●設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。

b に進む

b DNSアドレスを手動で入力する

① ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、決定 を押す

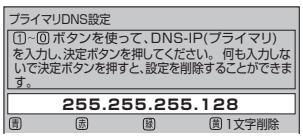


② 確認画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、決定 を押す

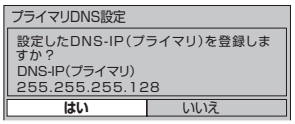
③ ▼でプライマリDNS、セカンダリDNSをそれぞれ選び、決定 を押す

④ ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

＜入力画面例（プライマリDNS）＞



IPアドレスを修正するときは 黄（1文字削除）で消去後に入力してください。



IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

●設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。

c 接続テストをする

▼で「接続テスト」を選び、決定 を押す

OK	インターネットへの接続が完了
宅内機器使用可	本機とホームネットワーク回線の接続が完了（インターネットとは接続されていません。）
NG	インターネットへの接続やネットワーク回線を再度ご確認ください。（☞ 28ページ）

赤 を押して、かんたん設置設定の確認 に進む

（☞ 39ページ）

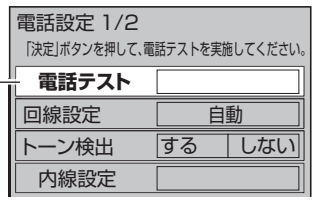
かんたん設置設定

8 電話設定

本機から電話回線へ接続するための設定です。

a 電話テスト

▼で「電話テスト」を選び、決定 を押す



OK 正常終了

c に進む

NG 画面の指示に従ってください。

テスト中 テスト中(最大約3分間かかります。)

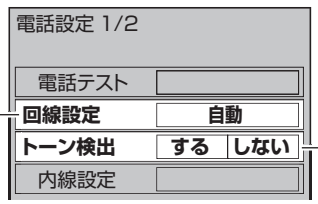
●電話テストで「NG」となったとき→

- 電話回線の接続をご確認ください。(☞ 30ページ)
- 回線設定を行なってください。
- トーン検出設定を行なってください。

b 電話回線を設定する

電話回線を設定します。

▼で「回線設定」または「トーン検出」を選び、◀▶で設定する



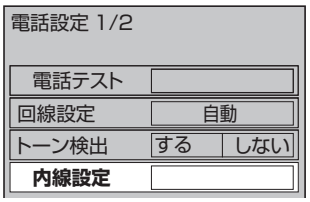
●通常ご使用のとき→「する」
●受話器を上げても『ツー』音が聞こえないとき→「しない」

●自動でうまく設定できないとき→

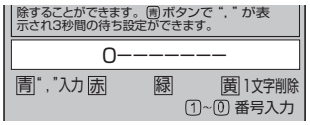
- ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合は「プッシュ」
- 出ない場合は「ダイヤル20(20pps)」か「ダイヤル10(10pps)」を選ぶ。

c 外線使用時に0発信などが必要なとき

① ▼で「内線設定」を選び、決定 を押す



② 0発信の電話のときは「0」を入力し、決定 を押す



(例) 0わをん

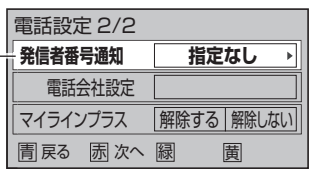
■入力を間違えたとき→ 黄 を押す
■0発信の後、外線につながるまで時間のかかる電話のとき
青 を押す
(画面に「, 」を表示。1つで3秒の待ち時間)

●外線選択のための番号は、ご使用の環境により「0」でない場合があります。

③ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

d 相手に電話番号を通知するか決める

▼で「発信者番号通知」を選び、◀▶で設定する



指定なし 電話会社との契約に従う(工場出荷時)

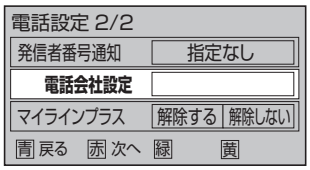
通知する 相手に常に通知する

通知しない 相手に常に通知しない

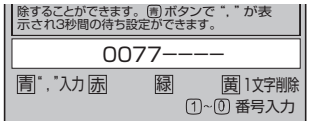
次に進む

e 本機から電話をかけるときのみ電話会社を変えたいとき

① ▼で「電話会社設定」を選び、決定 を押す



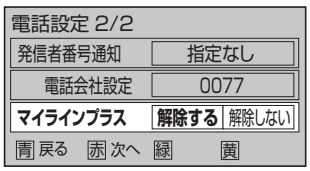
② 1 あ ～ 0 わをん で電話会社の番号を入力し、決定 を押す



■入力を間違えたとき→ 黄 を押す

③ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

④ マイラインプラスを契約のとき、
▼で「マイラインプラス」を選び、
◀で「解除する」を選ぶ



赤 を押して、

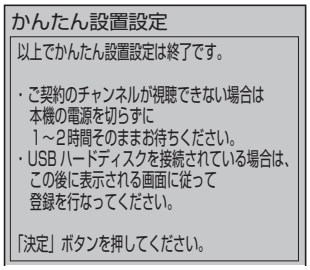
かんたん設置設定の確認 に進む

かんたん設置設定の確認

設定が正しく行われたことを確認するため、プレミアムサービスの放送が正しく受信できることを確認してください。

確認画面が表示されたら、

決定 を押す



「かんたん設置設定」は終了です。

スカパー！プロモ 200（ch.200）が表示されます。

契約されたチャンネルが全てご覧いただけるようになるまで、約1～2時間程度かかる場合があります。

お知らせ

- かんたん設置設定は、はじめてお使いいただく場合に表示されます。
  また「メニュー」→「設定する」→「かんたん設置設定」で、かんたん設置設定を行うこともできます。
- 初回起動時に、USBハードディスクを接続している場合は、かんたん設置設定を終了後、USBハードディスクの機器登録（☞ 67ページ）を行います。
  あとからUSBハードディスクを接続する場合は、接続（☞ 26ページ）の後に、機器登録（☞ 67ページ）を行ってください。

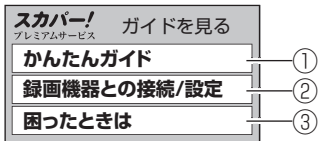
ガイドを見る

本機はかんたん説明画面(ガイド)を内蔵しています。テレビ画面で使いかたを確認することができます。

❶ メニュー を押す

❷ ▼▲で「ガイドを見る」を選び、決定 を押す

❸ ▼▲で見たい項目を選び、決定 を押す



① かんたんガイド
「番組表を表示する」
「視聴する」
「録画する」
「録画予約する」
「再生する」
「ダビングする」

② 録画機器との接続/設定
「USBハードディスク」
「LAN録画」

③ 困ったときは
「受信関連」
「接続機器関連」
「その他」

❹ ▼▲で見たい詳細項目を選び、決定 を押す

●ガイドが表示されます。
(ガイドの表示例 ☞ 右記、41ページ)

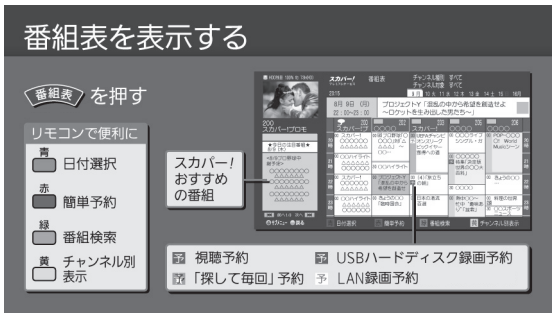
❺ ◀▶で見たいページを選ぶ

●戻る を押すと❸に戻ります。

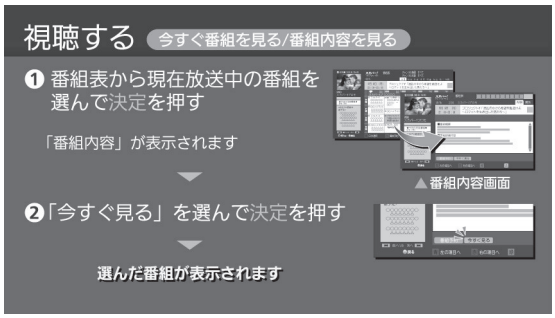
●各項目の最終ページで▶を押すと❸に戻ります。

■かんたんガイド

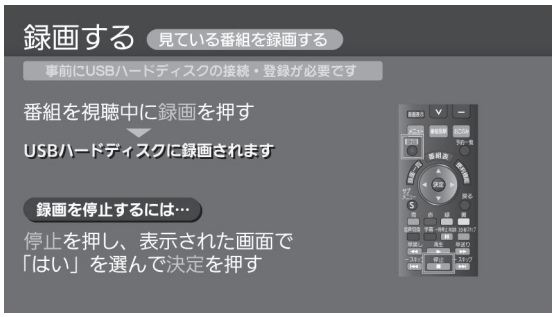
＜番組表を表示する＞



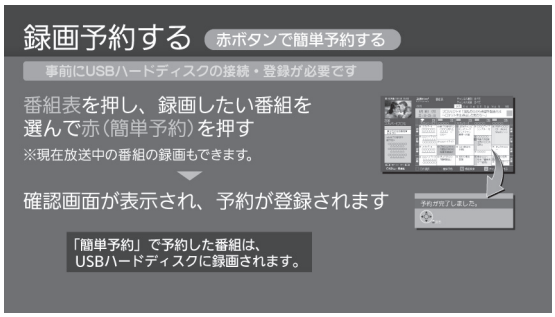
＜視聴する＞



＜録画する＞

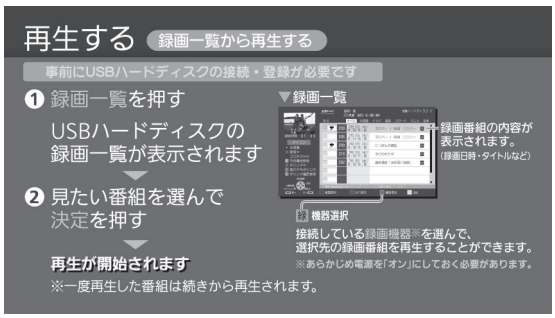


＜録画予約する＞

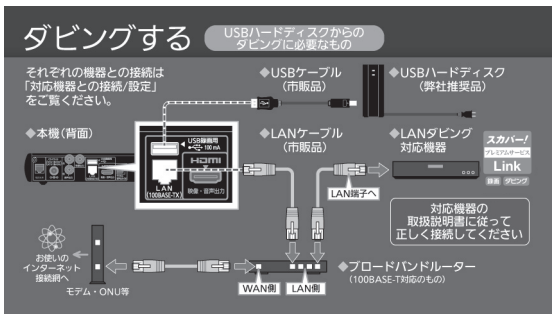


■かんたんガイド

＜再生する＞

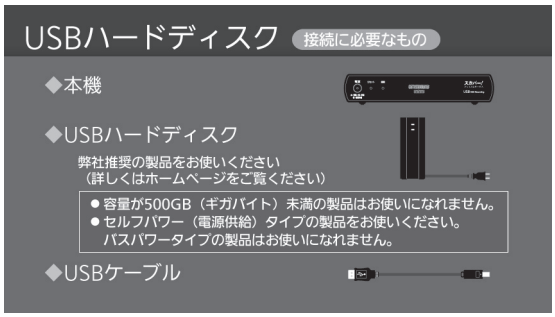


＜ダビングする＞

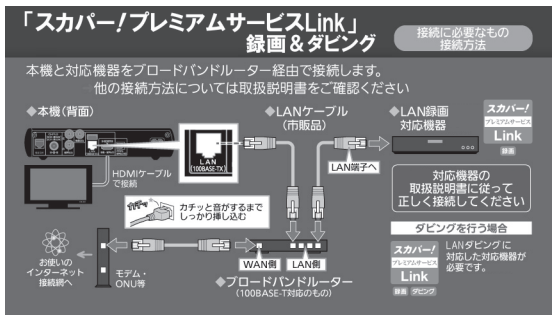


■録画機器との接続/設定

＜USBハードディスク＞

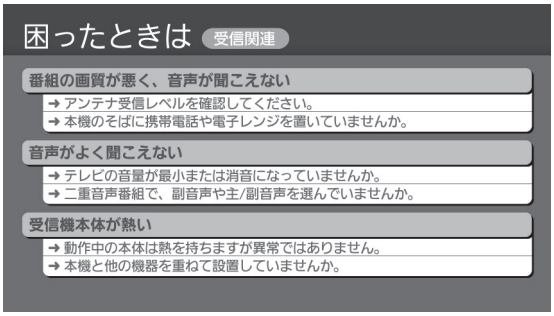


＜LAN録画＞

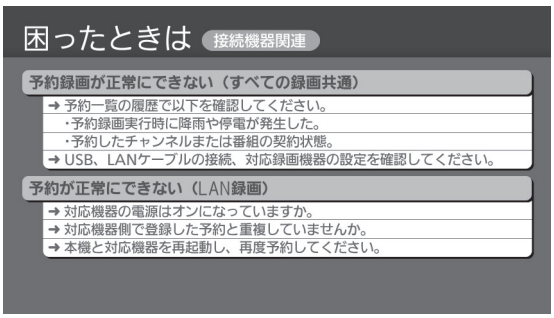


■困ったときは

＜受信関連＞



＜接続機器関連＞



＜その他＞